

令和6年度（2024年度）
社会福祉法人いなほ福祉会 ワークショップゆう 事業報告

1. 利用登録者数と利用実績（令和7年3月末）

【利用登録者数】 26名（就労継続支援B型17名・生活介護9名）

利用月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開所日数	22	22	22	21	19	21	23	21	22	22	19	22	256日
延利用人数B型	317	324	322	270	279	298	313	295	293	264	252	294	3,521人
延利用人数生活介護	173	158	142	141	137	153	168	160	156	146	135	167	1,377人
1日平均	22.3	21.9	21.1	19.6	21.9	21.5	20.9	21.7	20.4	18.6	20.4	21.0	20.9人

令和5年度 延利用人数5,181人（3260人,1921人） 1日平均20.3人

2. 職員体制（令和7年3月末）

<就労継続支援B型>

職 種	定 数	現 員
職業指導員	1	2
生活支援員		2
目標工賃達成指導員	1	1
合 計	2名	5名

<生活介護>

職 種	定 数	現 員
生活支援員	2	7
看護職員	1	1
計	3名	8名

<共通の職員>

職 種	定 数	現 員
管 理 者（兼務）	1	1
サービス管理責任者	1	1
調 理 員		4
送 迎 員		2
嘱 託 医	(1)	(1)
計	2名	8名

3. 今年度の重点方針

① 事業所の移転整備

- ・利用者の日中活動が安心して豊かに過ごせる施設整備となるよう、設備の充実、作業等の取り組み内容を具体化します。

年度内での建設が決まり、急ピッチで調整を進め、2025年3月に無事施設が完成しました。さらに、利用受け入れが増員出来、生産活動をより円滑に行えるよう施設整備の充実を図

りました。

②就労、生産活動

- ・製パン、製菓では品質が安定し製造量を増やせる作業の見直し、わんだ（生活介護事業）ではタイダイ染めを中心とした創作作品での魅力ある新商品づくりを行います。

製パン、製菓では品質の安定と製造量の向上を目指し、作業工程の改善に取り組みました。作業手順を調整することで生産効率を高め、より安定した商品づくりが出来ました。

わんだでは、カタログ販売を中心にタイダイ染め商品の販売を進め、新たにタイダイ染めの布を使った製品の商品化を行いました。また、タイダイ染め以外の商品の開発にも力を入れ、張り子人形等の商品化に向けて取り組みました。

- ・店舗スペースを活用した販売を具体化します。

新築移転が決まり、移転後に具体化を行うこととしました。事業所内でのフリーマーケットや地域イベントへの出店は積極的に行い、販売の機会を持てるようにしました。

- ・就業規則の見直しをします。

利用者就業規則の見直しについて、これまで検討を進めてきたものの、具体的な修正には至っていません。今後も検討を重ね、適切な改訂に向けて取り組んでいきます。

③ 情報発信

- ・SNSを活用した商品の紹介や事業所の様子を発信し、地域の方々への商品を知ってもらう機会や理解、啓発へと繋げていきます。

ブログやインスタグラムを通じて、商品の紹介や事業所の様子を発信しました。特にインスタグラムでは、製品や作業所の活動、イベントを中心に投稿し、地域の方々に広く情報を届けることができました。

4. 利用者への提供サービス

(1) 作業支援

安定した製造、作業技術の向上、廃棄を減らす事に重点をおいてすすめました。「工賃向上計画」に基づき、下記のとおり、製パン、製菓事業の充実をめざしました。

<就労継続支援B型事業>

①製パン、製菓事業の充実をすすめました。

- ・利用者が主体的に働く事を大切にしながら、製造を行ってきました。新商品の開発時には、利用者の意見を取り入れながら進め、販売を行いました。
- ・お客様のニーズに応じて、新たに「こしあんパン」の販売を始めました。
- ・令和7年度の新販売に向けて、「カレーパン」の商品開発を行いました。
- ・原材料費の価格高騰に伴い、販売価格の見直しの検討を行いました。レーズンパンは、形や大きさを調整し、価格の変更を行いました。

価格を引き上げることで注文が減り減収につながる可能性が高いため、純利益の減少を受けつつも、現時点では価格を据え置く判断をしました。原材料の高騰は続いており、価格変更の再検討が必要となっています。

②計画通りの内容で作業を行いました。

- ・パンの製造、販売

- ・ゆうキー、メロンビス、フレンチトーストの製造、販売
- ・製造販売に関する事務作業
- ・季節のカタログ販売（夏・冬・バレンタイン）

③食パンへの異物混入があり、商品の回収、謝罪等の対応を行いました。（11月21日）
 お客様への被害はなく、原因追及の調査を行いました。特定には至りませんでした。
 そのため、作業開始前に製パン機器や器具に異物が付着していないか、破損箇所はないか等の確認作業を徹底することとしました。

<生活介護事業>

① ゆるやかな作業環境を設けました。

- ・一人ひとりの個性や感性を大切にしながら作業を行いました。作業は、タイダイ染め商品の製造だけではなく、製パン、製菓の納品や材料の買い出し、季節のカタログ販売に取り組みました。
- ・地域イベントへ積極的に参加しタイダイ染め製品を販売する機会を持ちました。
 →メーデー、古座川青空マルシェ、いなほ作業所パン祭り、太田の郷フリーマーケット、ワークショップゆうフリーマーケット、レインボーフェスタ那智勝浦、新宮 KIZUNA フェス
- ・昨年に引き続き、通園くじら・通園らっこの園児を対象に染め物教室を開催しました。
 また、紀宝町子育てサロンつむぐや紀宝町社協からの依頼を受け、地域の方々を対象とした染め物教室も実施しました。
- ・創作製品は、販売場所や販売方法の確保が重要な課題となっています。
 移転後の施設の活用やイベントへの参加、インターネット販売の導入など、今後も検討を継続していきます。

②計画通りの内容で作業を行いました。

- ・染物商品の製作販売、道の駅への納品
- ・季節のカタログ販売（夏・冬・バレンタイン）
 →チラシ準備・配布、商品仕分け、配達、集金等
- ・休憩タイムの飲み物販売→チケットづくり
- ・材料や備品の買い出し

③就労支援事業・収支実績（就労継続支援B型・生活介護）

	2022(R4)年度実績	2023(R5)年度実績	2024(R6)年度実績
年間売上金額（A）	7,865,122円	9,174,040円	9,613,864
年間経費（B）	8,242,441円	9,022,285円	9,777,677
年間利益（A-B）	-337,319円	151,755円	-163,813円

※売り上げはアップしていますが、工賃支給額や材料費等の経費も増えており、赤字となりました。

④工賃支給実績（就労継続支援B型）

	2022(R4)年度実績	2023(R5)年度実績	2024(R6)年度実績
平均工賃月額	10,538円	11,691円（B型）	12,099円

	129,4円	—	117.9円
年間工賃総額	2,645,085円	1,784,190円	1,931,000円
年間支払対象者数	251人	180人	186人

・工賃支給実績（生活介護）

	—	2023(R5)年度実績	2024(R6)年度実績
年間工賃総額	—	994,630円	1,008,855円
年間支払対象者数	—	96人	96人

(2) 生活支援

作業所実践や諸行事等での利用者・家族の要望（意見）を傾聴し、利用者本位の作業所運営となるよう取り組み、要望（意見）に対しては迅速な対応を行いました。

① ドヤサー（土曜日の取り組み）・お楽しみ企画

- ・平日には取り入れにくい余暇活動を通じて、生活体験の幅を広げる工夫をしました。余暇活動の企画には、利用者の意見や希望を積極的に取り入れていました。

実施月	取り組み内容	参加利用者
4/20	ラーメン&パフェ作り 【ワークショップゆう】	19名
5/25	つくしんぼ歌謡祭 【那智勝浦町体育文化会館】	19名
6/8	映画鑑賞 【ジストシネマ南紀】	16名
6/22	ワークショップゆうフリーマーケット 【ワークショップゆう】	20名
7/20	第2回ワークショップゆう夏祭り 【ワークショップゆう】	(感染予防の為延期)
8/24	カラオケに行こう 【勝浦/カラオケハウス歌楽】	18名
9/14	秋だけど第3回ワークショップゆう夏まつり 【ワークショップゆう】	16名
9/28	第4回スイッチ大会 【ワークショップゆう】	16名
10/24	第2回ワークショップゆうフリーマーケット 【ワークショップゆう】	20名
11/15・16	作業所旅行（日帰り、宿泊を選択）【串本観光・国民休暇村南紀】	23名/18名
12/24	わされん仲間の交流会（平日開催） 【3名田辺会場・オンライン参加】	自由参加
12/26	おとなのクリスマス会（平日開催） 【ワークショップゆう】	20名
12/28	希望通所 焼き芋づくり 【ワークショップゆう】	12名
1/4	希望通所 お餅を焼いてぜんざいを作ろう 【ワークショップゆう】	10名
1/25	世界遺産4神社の御朱印をもらおう 【熊野那智大社】	15名
2/15	新宮 KIZUNA フェスに行こう 【新宮丹鶴ホール】	14名
3/15	みたらし団子をつくろう 【ワークショップゆう】	19名
3/29	新宮カラオケ DAM に行こう 【新宮カラオケ DAM】	18名
合計	ドヤサー15日開催/作業所旅行1日/その他お楽しみ企画2日	280名

(ドヤサー令和5年は15日開催 264名/日帰り旅行1日)

② ニコサー

- ・毎週水曜日午後の約1時間、作業をしないリフレッシュする時間を設けました。主にストレッチを行い、1週間の中休みとして活用できました。

③ 平見ハイツの利用

- ・他事業所のショートステイを利用する方が広がり、平見ハイツの利用は希望のあった方のみ同泊支援を行いました。

〔宿泊体験実習 利用実績〕	
利用者 3人 / 利用日数 3泊 / 職員同泊同行等支援	3泊

④障害福祉サービスの活用

- ・必要に応じて本人や家族と相談支援事業所との仲立ちとなり、「障害福祉サービスの活用」につなげ余暇や生活面でも豊かな生活につながる事を大切に出来るようすすめました。

5. 緊急時の対応

緊急時の対応をする案件はありませんでした。

6. 事故発生時の対応

日付	事故等の発生状況およびその後の経過（損害保険利用状況等）
9月25日（水）	運搬中の机が足に倒れ右親指の開放骨折。9/25～12/2まで23回通院。歩かず安静に出来ないため完治に時間がかかりました。損害保険を利用し見舞金を支払いました。

※ヒヤリハット5件

7. 虐待および身体拘束発生状況

身体拘束説明書・同意書作成 0名

【虐待案件】 0件

【身体拘束発生案件】 0件

【不適切支援案件】 0件

8. 苦情解決実績報告

苦情の案件はありませんでした。

9. 職員（援助者）の援助技術の向上

(1) 職員会議の実績報告

・支援職員全体会議	→	12回開催
・職員会議	→	10回開催
・個別支援計画策定会議	→	14回開催
・給食会議	→	6回開催

(2) 職員研修の実績報告

【内部研修】

日程	主催	研修内容	講師	参加人数
----	----	------	----	------

5月2日	いなほ福祉会	コミュニケーションの苦手な子どもたち・こだわりの強い子どもたち～自閉スペクトラム症の視点から～	浜松学院大学短期大学部教授 志村浩二氏	6名
5月16日	ワークショップ プゆう	コミュニケーションの苦手な子どもたち・こだわりの強い子どもたち	動画視聴研修	12名
6月13日	ワークショップゆう	食中毒・感染症を予防する手洗い研修	安全管理感染症対策委員	14名
6月29日	いなほ福祉会	虐待防止・人権擁護伝達研修 後日 伝達研修	人権擁護推進委員	18名 2名
8月22日	ワークショップゆう	2023年度を振り返って	ワークショップゆう職員	14名
9月11日	ワークショップゆう	感染を疑う者が出た場合のシュミレーション 訓練「嘔吐物の処理方法について実技研修」	安全管理感染症対策委員	13名
9月19日	いなほ福祉会	防災教育（和歌山県基礎講座）	那智勝浦町役場総務課 防災対策室藤社氏、汐見氏	5名
11月20日	いなほ福祉会	保育現場で活かす接遇スキル	一井愛理子	6名
11月7日	ワークショップゆう	B C P（感染症）の周知	安全管理感染症対策委員	13名
12月12日	ワークショップゆう	水害・土砂災害対応訓練について B C P（災害）の周知	災害対策推進員	13名
2月27日	災害対策委員会	「能登半島地震被災地支援の体験談を聞く」	いなほ作業所 平澤氏	4名
3月13日	ワークショップゆう	侵入事件防犯対策	動画視聴研修 (安全管理感染症対策委員)	12名
		志村先生カンファレンス伝達研修	ワークショップゆう主任	

【外部研修】

日程	主催	研修内容	講師等	参加人数
5月29日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「みんなのねがい」学習会	新宮東牟婁サークル事務局	2名
6月26日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「教育と保育のための発達診断セミナー」学習会	新宮東牟婁サークル事務局	2名
7月13日	きょうされん	全国大会プレ企画・発達保障と障害者権利条約をびわ湖の地から	大会実行委員長 白石恵理子氏 きょうされん常任理事 赤松英知氏	1名
7月31日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「教育と保育のための発達診断セミナー」学習会	新宮東牟婁サークル事務局	2名
9月11日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「みんなのねがい」学習会	新宮東牟婁サークル事務局	2名
10月9日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「みんなのねがい」学習会	新宮東牟婁サークル事務局	2名
10月30日 11月6日	和歌山県福祉事業団	令和6年度和歌山県サービス管理責任者等更新研修	和歌山県自立支援協議会 人材育成部会	1名
11月8, 9日	きょうされん	第47回全国大会 in しが 発達保障の歴史とこれから 重度・重複障害のある人への支援	白石恵理子氏、斎藤なを子氏 分科会	1名

11月13日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「みんなのねがい」学習会	新宮東牟婁サークル事務局	2名
11月19日	わされん	きょうされん全国大会（報告会） （オンライン）	わされん・報告者	1名
12月3, 4日	和歌山県	強度行動障害支援者養成研修 （基礎研修）	和歌山県自立支援協議会 人材育成部会	2名
12月5日	わされん	組織運動委員学習会「運動を自分の 半径3メートルに見出す」	きょうされん全国事務局 事務局次長 坂下 共氏	6名
12月18日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「みんなのねがい」学習会	新宮東牟婁サークル事務局	2名
2月12日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	全障研例会「みんなのねがい」学習会	災害対策委員会	2名
3月8日	わされん	作問研 レポート参加	わされん	1名
3月8日	全障研和歌山県新宮 東牟婁サークル	発達セミナー 「障害のある子ども・若者のセクシュアリティ」	日本福祉大学教授 伊藤修毅氏	2名
3月15日	新東障連	職員研修会 「能登半島被災地支援に入って報告会」 きいちゃん津波避難ゲーム	いなほ作業所 平澤氏	1名